

令和7年2月14日

# 開進三中だより

< 第10号 >

—◆たくましい人◆考える人◆心豊かな人◆助け合う人— 練馬区立開進第三中学校

## 長距離走

校長 堀 健一

肌寒さの中にも、季節の移り変わりを感じる今日この頃です。本校でも、生徒たちは元気いっぱい活動しており、各教室や運動場から明るい笑顔と楽しそうな声が響いています。

先月は「第101回箱根駅伝」が開催され、多くの人がその熱戦に胸を熱くしたことと思います。選手たちが厳しい道のりを懸命に走り抜く姿に感動した方も多かったのではないのでしょうか。本校でも、冬は恒例の「長距離走」の授業が行われます。長距離走は、ふだんの生活、学習、大袈裟かもしれませんが「人生」に通じるものがあります。苦しい場面に直面するたびに、自分と向き合いながら走り抜く必要があります。しかし、その過程を乗り越えたときの達成感は格別であり、心に大きな成長をもたらします。私は、走る仲間たちを励ます声援が、とても大きな力になっているのを目の当たりにするたびに、スポーツの素晴らしさを改めて実感しています。

長距離走を通して、生徒たちは体力や精神力を鍛えると同時に、仲間を思いやる心や支え合いの大切さを学んでいます。本校ではこれからも、生徒一人一人が挑戦と成長を楽しめる環境づくりに努めてまいります。



# 日本の伝統文化に触れた1月でした。

## 百人一首大会



1月の1学年は、百人一首大会とむつのを体験があり、日本の伝統文化に触れる1カ月でした。

百人一首大会に向けては、より楽しむために、短歌をたくさん覚えました。その結果、練習を重ねるごとに、取る枚数が増え、取れるまでの時間も短くなっていき、当日は皆が全力で熱い時間を過ごすことができました。

むつのを体験では、お箏の体験とプロの方の生演奏を聴くことで、お箏の音色やその良さを味わうことができました。ほとんどの人が初めてお箏を体験しましたが、1時間終わるころには「さくら」が弾けるようになりました。

## むつのを体験



## 書写 (書き初め)



毎年恒例の書き初め展。生徒の作品が教室いっばいに掲示されると、非常に見ごたえがあります。毎年12作品を区の展覧会に出品しますが、今年は区立美術館の休館で3作品のみとなりました。そのため今年度は、各学年から選ばれた優秀な12作品を集め、校内書き初め展を実施しています。

## 国際理解講演会



1月31日(金)5、6校時に、第2学年で国際理解講演会を行いました。講師に、写真家の関健作さんをお呼びしました。元青年海外協力隊員としての経験を踏まえながら、昨年エベレスト登頂を成功させたことを主にご講演いただきました。エベレスト登頂を決意されたきっかけから、当日までの準備や資金集め、実際に登山した際の度重なる困難を乗り越えた貴重な体験談を聞くことができました。